

平成 30 年 7 月豪雨に係る災害復旧事業等の進捗状況について

技術企画課
道路整備課
河川課
砂防課
流域下水道課

1 要旨

平成 30 年 7 月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設の災害復旧事業について、進捗状況と見通し等について報告する。

2 災害復旧事業の進捗状況

災害復旧事業として採択された、県が管理する公共土木施設 2,550 箇所（査定決定箇所数）の令和 2 年 6 月末時点での進捗状況は、次のとおりである。

（単位：箇所）

建設事務所（支所）等	災害復旧事業被災箇所数（査定決定ベース）※1				
		発注済※2		完成	発注予定
			契約済		
西部	479	353	324	114	126
呉	222	188	187	48	34
廿日市	11	11	11	11	-
安芸太田	30	30	30	27	-
東広島	517	322	305	141	195
東部	450	450	450	297	-
三原	459	362	339	206	97
北部	143	142	140	114	1
庄原	236	178	172	121	58
広島水道	3	3	3	3	-
全体 （R2.6月末時点）	2,550	2,039 (80%)	1,961 (77%)	1,082 (42%)	511 (20%)
参考 （R2.5月末時点）	2,550	1,922 (75%)	1,868 (73%)	985 (39%)	628 (25%)

（※1）県が管理する公共土木施設で工事費 120 万円以上の災害復旧事業として採択されたもの。

（※2）公告または指名通知済のもの。

《令和 2 年 6 月に完成した災害復旧事業の一例》



（一）天田川（神石郡神石高原町上豊松）



（一）下徳良本郷線（三原市本郷町）

3 事業進捗上の課題

- ① 被災箇所が多い地域では、地域内事業者の手持ち工事量が多く、必要な主任（監理）技術者の融通や下請業者の確保が困難なことから、不調・不落となるケースが依然として発生している。
- ② 契約済工事においても、全国的に頻発している災害による技能労働者の不足等により工事の稼働率が低下するなど、事業進捗に遅れが生じている。

4 事業進捗の見通しと取組

主任技術者の工事兼務制限の緩和等、受注環境の整備を図ってきたところであり、令和2年6月末時点で77%の工事が契約済となり、42%の工事が完成した。

令和2年度中の復旧完了を目標としてきたところであるが、全体の約2割にあたる箇所の工事が完成が令和3年度にずれ込む見通しとなった。

今後は、人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい箇所については、令和3年の出水期までに完成させ、残る箇所については、出水期前の現場点検や土のう等の設置など万全の対策を講じつつ、令和3年度中の完成を目指す。

この完成目途に向け、未契約箇所の計画的な執行などの様々な取組を実施する。

（主な取組内容）

- ・ 毎月の事業進行管理においては、新型コロナウイルス感染症対策の影響を注視しつつ、地域毎の状況を把握したうえで、適切な工事発注時期の選定や、地域内事業者の手持ち工事量を踏まえた発注ロットの調整を行うことで、県全体として効率的な執行を図る。
- ・ 受発注者間の打合せや検査は3密を避けた対応を行うとともに、Web会議等の活用を図ることで、工事実施の効率化を図っている。
- ・ 一定の要件を満たす工事においては、主任技術者の工事兼務制限の更なる緩和を図った。

5 改良復旧事業の進捗状況

被災箇所が連続するなど再度災害防止の観点から、県が事業主体となり、一連で対策を講じる改良復旧事業については、5年以内での事業完了を目指しているところであり、進捗状況は次のとおりである。

区分	事業名	進捗状況（予定を含む）		完了見込み
		用地	工事	
道路	主要地方道 呉環状線【災害関連事業】	境界立会：令和2年2月～ 用地交渉：令和2年2月～	護岸工着手：令和元年12月 橋梁下部工・法面工等着手：令和2年3月	令和3年度中
河川	沼田川及びその支川 【河川激甚災害対策 特別緊急事業】	境界立会：令和2年7月～ 用地交渉：令和2年9月～	護岸工事発注：令和2年7月 堰改築工事：着手済み 河道掘削 沼田川発注：令和2年7月 仏通寺川：完了 梨和川着手：令和元年11月	令和4年度中
	三篠川 【災害復旧助成事業】	境界立会：令和元年8月～ 用地交渉：令和元年12月～	一部工事着手：令和元年11月	令和4年度中
砂防	ひよき川 【災害関連事業】	境界立会：完了 用地交渉：令和元年6月～	1工区着手：令和2年3月 2工区着手：令和2年3月	令和3年度中

《三篠川【災害復旧助成事業】の進捗状況》

